

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年1月9日

協議会名: 長野県公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
長電バス株式会社	山田温泉線	路線再編を実施。分岐点までのルートを一統し、近い時間帯に重複運行している状況を改善した。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標輸送量:37.9 に対して 実績輸送量31.2であった。	利用客の増加を図るため、観光協会等と連携していく。
長電バス株式会社	上林線 ※車両減価償却費国庫補助金を受けている	バスの乗り方教室を実施し利用促進を図った。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標輸送量:29.9 に対して 実績輸送量25.3であった。	バス停や車内表示器をインバウンド対応し、利便向上に努める。
長電バス株式会社	永田線 ※車両減価償却費国庫補助金を受けている	近隣自治体の乗合タクシー事業との接続を図り、利便を向上させた。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	A 目標輸送量:22.9 に対して 実績輸送量22.9であった。	利用者の少ない時間帯を減便し、経費節減に努める。
長電バス株式会社	屋島線 ※車両減価償却費国庫補助金を受けている	免許返納制度と、高齢者に対するバス利用促進イベントを通じて、利用者への路線周知を図った。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標輸送量:21.8 に対して 実績輸送量21.2であった。	自動車通勤の方が、バス通勤に変えてもらえるような施策を自治体と検討する。

長電バス株式会社	牟礼線 ※車両減価償却費国庫補助金を受けている	飯綱町内の高齢者への運賃低減サービスを、長野市在住の高齢者と共通とし、利用促進を図った。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	A	目標輸送量:30.8 に対して 実績輸送量31.3であった。	飯綱町独自路線にもICカードを導入し、牟礼線とのサービスを一体化し、公共交通全体の利便向上に努める
長電バス株式会社	野沢線 ※公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けている	通勤通学旅客の利便向上を図るため、時刻改正を実施した。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	A	目標輸送量:37.1 に対して 実績輸送量37.1であった。	利用者の少ない時間帯を減便し、経費節減に努める。
長電バス株式会社	中野木島線 ※車両減価償却費国庫補助金、公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けている	通勤通学旅客の利便向上を図るため、時刻改正を実施した。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	A	目標輸送量:18.0 に対して 実績輸送量18.6であった。	利用者の少ない時間帯を減便し、経費節減に努める。
長電バス株式会社	屋代須坂線(須坂駅～屋代駅) ※車両減価償却費国庫補助金を受けている	小学生を対象にバスの乗り方教室を実施し、バスへの理解と利用促進を図った。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B	目標輸送量:20.0 に対して 実績輸送量17.6であった。	利用者の少ない時間帯を減便し、経費節減に努める。
長電バス株式会社	屋代須坂線(須坂駅～松代駅) ※車両減価償却費国庫補助金を受けている	小学生を対象にバスの乗り方教室を実施し、バスへの理解と利用促進を図った。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B	目標輸送量:22.4 に対して 実績輸送量19.2であった。	利用者の少ない時間帯を減便し、経費節減に努める。

アルピコ交通(株)	高府線(善光寺大門～高府)	ノンステップ車両の導入など、学生、高齢者などの交通弱者が使いやすい公共交通サービスの提供を目指す。また、ICカードくるるのデータを継続的に分析し、それを基にダイヤの改善を検討している。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B	目標輸送量37.6 に対して、利用者が伸びなかったことから、実績輸送量34.3であった。	長野市及び小川村地域公共交通会議と連携し、利便性の高いダイヤの設定・運賃の適正化、中古等での低床車両の購入や沿線の学校等に時刻表等の配布を行いより一層の利用促進を図っていく。
アルピコ交通(株)	高府線(善光寺大門～初引) ※車両減価償却費国庫補助金を受けている	ノンステップ車両の導入など、学生、高齢者などの交通弱者が使いやすい公共交通サービスの提供を目指す。また、ICカードくるるのデータを継続的に分析し、それを基にダイヤの改善を検討している。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B	目標輸送量21.5 に対して、利用者が伸びなかったことから、実績輸送量20.0であった。	長野市及び小川村地域公共交通会議と連携し、利便性の高いダイヤの設定・運賃の適正化、中古等での低床車両の購入や沿線の学校等に時刻表等の配布を行いより一層の利用促進を図っていく。
アルピコ交通(株)	鬼無里線 ※車両減価償却費国庫補助金を受けている	学生、高齢者などの交通弱者が使いやすい公共交通サービスの提供を目指し、市営バスとの乗継停留所を変更するとともに、バリア解消を目的としてノンステップバスを1台導入した。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B	目標輸送量42.1 に対して、利用者が伸びなかったことから、実績輸送量35.7であった。	長野市地域公共交通会議と連携し、利便性の高いダイヤの設定・運賃の適正化、中古等での低床車両の購入などを行い、より一層の利用促進を図っていく。
アルピコ交通(株)	県道戸隠線	学生、高齢者などの交通弱者が使いやすい公共交通サービスの提供を目指す。また、ICカードくるるのデータを継続的に分析し、それを基にダイヤの改善を検討している。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B	目標輸送量39.5 に対して、利用者が伸びなかったことから、実績輸送量37.2であった。	長野市地域公共交通会議と連携し、利便性の高いダイヤの設定・運賃の適正化、中古等での車両の購入や沿線の学校等に時刻表等の配布を行いより一層の利用促進を図っていく。
アルピコ交通(株)	新町大原橋線(善光寺大門～新町)	ノンステップ車両の導入など、学生、高齢者などの交通弱者が使いやすい公共交通サービスの提供を目指す。また、ICカードくるるのデータを継続的に分析し、それを基にダイヤの改善を検討している。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B	目標輸送量33.1 に対して、利用者が伸びなかったことから、実績輸送量27.8であった。	長野市地域公共交通会議と連携し、利便性の高いダイヤの設定・運賃の適正化、中古等での低床車両の購入や沿線の学校等に時刻表等の配布を行いより一層の利用促進を図っていく。
アルピコ交通(株)	新町大原橋線(善光寺大門～大原橋・犀峽高校)	ノンステップ車両の導入など、学生、高齢者などの交通弱者が使いやすい公共交通サービスの提供を目指す。また、ICカードくるるのデータを継続的に分析し、それを基にダイヤの改善を検討している。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B	目標輸送量31.5 に対して、利用者が伸びなかったことから、実績輸送量25.7であった。	長野市地域公共交通会議と連携し、利便性の高いダイヤの設定・運賃の適正化、中古等での低床車両の購入や沿線の学校等に時刻表等の配布を行いより一層の利用促進を図っていく。

アルピコ交通(株)	山形線 ※車両減価償却費国庫補助金を受けている	協議会と連携して全線時刻表を作成・配布を行ない公共交通利用促進を図っている。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	A	目標輸送量30.7に対して、実績輸送量38.1であった。 山形村及び松本市地域公共交通会議と連携し、利便性の高いダイヤの設定・運賃の適正化、中古の低床車両の購入などを行い、より一層の利用促進を図っていく。
アルピコ交通(株)	四賀線 ※車両減価償却費国庫補助金を受けている	協議会と連携して全線時刻表を作成・配布を行ない公共交通利用促進を図るとともに、バリア解消を目的としてノンステップバスを1台導入した。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B	目標輸送量30.4に対して、利用者が伸びなかったことから、実績輸送量27.9であった。 松本市地域公共交通会議と連携し、利便性の高いダイヤの設定・運賃の適正化、中古の低床車両の購入などを行い、より一層の利用促進を図っていく。
アルピコ交通(株)	本線 岡谷～茅野線	市町村と連携して時刻表冊子を作成・配布を行ない公共交通利用促進を図るとともに、ノンステップ、ワンステップバスを導入して利用者の便を図った。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B	目標輸送量36.7に対して、利用者が伸びなかったことから、実績輸送量35.8であった。 利用旅客の減少が続く中、ダイヤ、運行系統の見直し等を行い、今後も旅客のニーズにあった運行を目指し利用促進を図っていく。

千曲バス(株)	佐久上田線	土日祝日の運休を引き続き実施して経費削減を図った。また、上田市運賃低減バス実証運行の利用促進活動を実施した。	A	計画通り事業は適切に実施された。	A	目標輸送量:15.0 に対して 実績輸送量15.9であった	沿線自治体からの支援をいただきながら、引き続き土日祝日の運休を実施し経費削減を図る。また、運賃低減バスが継続されたため、今後もバス存続に向けて地域への働きかけを実施する。
千曲バス(株)	中仙道線	コミュニティバスとの接続を引き続き実施した。	A	計画通り事業は適切に実施された。	A	目標輸送量:40.0 に対して 実績輸送量42.3であった	佐久市内循環バスとの連携を引き続き行い、利用しやすい交通体系の構築を図る。
千曲バス(株)	鹿教湯線(鹿教湯車庫～下秋和) ※車両減価償却費国庫補助金、公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けている	高校への定期券出張販売や上田市運賃低減バス実証運行の利用促進活動を実施した。	A	計画通り事業は適切に実施された。	A	目標輸送量:50.0 に対して 実績輸送量52.5であった	運賃低減バスが継続されているため、季節に合わせた車内デコレーションやプレゼントキャンペーンなど、引き続き利用促進活動を実施する。
千曲バス(株)	鹿教湯線(丸子～下秋和) ※車両減価償却費国庫補助金を受けている	高校への定期券出張販売や上田市運賃低減バス実証運行の利用促進活動を実施した。	A	計画通り事業は適切に実施された。	B	目標輸送量:60.0 に対して 実績輸送量59.0であった	運賃低減バスが継続されているため、季節に合わせた車内デコレーションやプレゼントキャンペーンなど、引き続き利用促進活動を実施する。
千曲バス(株)	青木線 ※公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けている	青木村・上田市と連携した運賃低減バス実証運行の利用促進活動を実施した。	A	計画通り事業は適切に実施された。	A	目標輸送量:70.0 に対して 実績輸送量75.0であった	運賃低減バスが継続されているため、季節に合わせた車内デコレーションやプレゼントキャンペーンなど、引き続き利用促進活動を実施する。また、貨客混載バスを有効活用し、生産性を向上させる。

上田バス	真田線	夏休みキッズパスの配布。モビリティマネジメントの実施。回数券、定期券購入者向けの粗品プレゼントキャンペーンの実施。車内装飾を期間限定で実施。	A	計画に位置づけられた事業は適切に実施されている	B	目標輸送量は21.2人に対して輸送量は20.6人であった	平成28年から回復傾向にある客足を継続して伸ばす。今後もバスの乗り方教室や、チラシの配布などによる利用啓発を行う。地区行事の際に積極的な利用啓発を行う。
上田バス	菅平高原線 ※車両減価償却費国庫補助金、公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けている	夏休みキッズパスの配布。沿線近隣の小中学生を対象としたバスの乗り方教室の実施、将来の利用者掘り起し。複数回乗車のお客様に高原野菜プレゼント企画実施。	A	計画に位置づけられた事業は適切に実施されている	A	目標輸送量は41.4人に対して輸送量は41.4人であった	スキー客減少による冬期の減収への対策を検討する。菅平観光協会と協力し、今後も野菜のプレゼント等の企画を実施していく。菅平高原へのアクセスをPRする。また、支払い方法の拡充も検討する。
上田バス	真田自治センター入口線	夏休みキッズパスの配布。モビリティマネジメントの実施。回数券、定期券購入者向けの粗品プレゼントキャンペーンの実施。車内装飾を期間限定で実施。	A	計画に位置づけられた事業は適切に実施されている	B	目標輸送量は34.4人に対して輸送量は33.2人であった	上田市と協力し、引き続きNHK大河ドラマの観光客取り込みを目指す。観光利用客に向け路線案内の充実を図る。運行時刻の広報を行う。
信南交通株式会社	駒場線(中村経由) 飯田駅前～中村～曾山入口 ※公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けている	阿智高校生の利便性を確保するよう、学校行事にあわせ臨時便・続行便の運行を行った	A	計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B	朝晩の通学便は前年度輸送量を上回るが、沿線人口減少により日中便の利用者が減少した結果輸送量42.9人の目標に対し41.1人となり計画達成出来なかった。	高校生の通学に対しては引き続き利便性を確保するよう学校行事に合わせ臨時便・続行便の運行を行っていく。
信南交通株式会社	駒場線(市立病院経由) 飯田駅前～市立病院～曾山入口 ※公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けている	PTA連合会からの要望により2019年4月より運行回数増回	A	計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B	本年度、OIDE飯田長姫高校への通学生が減少し、輸送量24.4人の目標に対し20.3人となり計画達成出来なかった。	飯田市と共同にて市内主要企業へ利用促進に関するアンケート調査を実施し通勤利用における問題点の把握と課題を整理